

関西大学

会計専門職
大学院

2025

アカウンティングスクール

GRADUATE SCHOOL OF
KANSAI UNIVERSITY,
SCHOOL OF ACCOUNTANCY

—実学の関大— 会計の頂点がここにある

MBA
in ACCOUNTANCY

会計専門職大学院の

1

→ P.6 参照

豊富な授業科目

キャリア設計に
最適

皆さんの進路・ニーズに応じて会計を中心に、基本→発展→応用・実践と自分のレベルに応じた学修が可能です。また、講義形式の授業のみならず、演習・事例研究といった授業も多様に展開しています。さらに、国際社会やDX化にも対応し、ニーズの高い最先端の科目を特殊講義として多数用意しています。

2

→ P.14 参照

最適な学修環境

24時間365日
自習室利用

本会計専門職大学院生専用の個人ロッカーとキャレルが設備された快適な環境で、学修することができます。また24時間365日利用が可能のため、早朝から夜遅くまで、自分の生活スタイルに合わせた学修が可能です。



3

→ P.8・9・13 参照

会計専門職大学院独自のインターンシップ制度

監査法人および企業等、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しており、また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。各種インターンシップはいずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

「会計力」を
実践

4

→ P.21 参照

充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院はできる限りこれを支援しています。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金や貸与奨学金など、豊富な奨学制度を用意しています。

8の魅力

5

→P.11 参照

各種試験に対応

本会計専門職大学院は、公認会計士試験合格者を多数輩出しており、公認会計士試験はもちろん、証券アナリスト、U.S.CPA、公認内部監査人(CIA)、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも広く対応しています。

6

→P.10 参照

主要講義の動画配信

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。この動画は大学や自宅で何度でも繰り返し視聴することができます。

理解できるまで
何度でも



7

→P.11 参照

さらなる学修をサポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座を用意しています。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験の対策ができます。
[CPA資格取得支援プログラム]

3年コース・
4年コース

8

→P.23 参照

長期履修学生制度

本来であれば2年で修了することになりますが、その期間を3年ないし4年に延長することができます。その特徴は次のとおりです。①じっくりと時間をかけて勉強できる。②社会人の方にとっては年間の履修科目を少なくすることで働きながら学修できる。③学費は2年修了とほぼ変わらないため、年間あたりの学費を少なくできる。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。
- 2 入学試験としては、一般入試(学力重視方式及び素養重視方式)、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留
- 3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。

学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。

カリキュラム・ポリシー

会計専門職大学院では、会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得できるように、以下の点を踏まえて教育課程を編成します。

- 1 教育内容
 - (1) 本研究科においては、高度な会計専門職業人として、
 - ①国際水準で通用すべく卓越した理論と実務への習熟、②公益を意識した職業倫理観の醸成を達成するために、会計・監査を中心に据えながら、将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。
 - (2) 横軸に科目群として、本研究科で専門職教育を受けるための前提となる「導入科目群」、会計専門職業人として最低限必要とされる能力を養う「基本科目群」、基本科目で習得した内容をさらに深化し隣接領域に展開する教育を行う「発展科目群」、そして、経済社会において即戦力となる会計専門職業人としての能力を養う「応用・実践科目群」を置く。一方、縦軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」の5系統を配置している。
 - (3) 個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニング
- 2 学習成果の評価
 - (1) 学習成果の評価については、学生の能力及び資質を正確に反映する客観的かつ厳正なものとして、明確な評価基準に従って行われる。
 - (2) 学習成果の評価基準は、筆記試験やレポート試験によるもののほか、プレゼンテーション及びディスカッションを総合評価するなど、各科目の特性に応じて定められており、その評価にあたっては、厳格な相対評価から絶対評価によるものまで、それぞれの科目に応じて基準が定められている。
 - (3) 「考動力」に集約される資質・能力の評価に関しては、関西大学コンピテンシー調査の集計等によって行う。
 - (4) 主体的に学びに取り組む態度に関しては、各種学生調査の集計によって把握する。

を可能とする個別演習指導、研究志向の学生向けの論文作成の指導科目を「横断科目」として設置している。

ディプロマ・ポリシー

会計専門職大学院では、国際水準で通用し、かつ理論と実務に習熟した会計専門職業人に対して会計修士(専門職)の学位を授与します。

- 1 (知識・技能)

会計専門職業人として必要とされる理論と実務に習熟し、かつ職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を修得し、それらを総合的に活用することができる。
- 2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

健全な精神を持ち合わせた監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人として考動力をもって社会の要請にこたえることができる。
- 3 (主体的な態度)

国際化およびIT分野にも精通し、かつ、財務、法律・税務や経営に強い会計専門職業人として活動することができる。



研究科長

三島 徹也

MISHIMA Tetsuya

みなさん、
関西大学会計専門職大学院
(アカウンティングスクール)へようこそ!

関西大学会計専門職大学院は、世界で通用する、理論と実務に習熟した会計専門職業人を養成することを目的としています。これは単に知識としての会計を学修するだけでなく、豊かな会計センスや高度な判断・思考能力に加えて、会計専門職業人としての職業倫理をも修得し、さらには、財務や法律・税務、経営・経済などの個性ある得意分野を身につけることを意味します。私たちは、これらを身につけた「会計心をもった超会計人」として、監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人(MBA in Accountancy)を養成します。

そこで、本会計専門職大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から発展、応用・実践へと段階的な学修ができる科目を配置し、さらには、個性を伸ばす個別演習科目である各種ソリューションを置いています。学生が自分の進路や学修スタイルに応じて、明確なキャリア設計のもとで学修することができます。ほかにも、学生がいつでも学修できるように、24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意しています。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけないですか。私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の努力をします。

コンテンツ Contents

- 2 会計専門職大学院の8の魅力
- 4 設置の理念
- 5 ごあいさつ・コンテンツ・研究科概要
- 6 カリキュラム
- 7 履修モデル
- 8 講義紹介／インターンシップ体験談
- 10 サポート体制
- 12 在学生・修了生からのメッセージ
- 13 就職支援
- 14 キャンパス・施設紹介
- 16 公認会計士試験合格体験談
- 17 会計専門職体験談
- 18 教員スタッフ
- 21 学費・諸費／奨学制度
- 22 入試概要
- 23 数字でわかる関大AS

研究科概要

名称 (英訳名)	関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)
通称	関西大学会計専門職大学院 関西大学アカウンティングスクール
設置形態	専門職大学院
学位名称 (英訳名)	会計修士(専門職) (Master of Business Administration in Accountancy)
入学定員	40名(収容定員80名)
教員スタッフ	専任教員13名 (うち、研究者教員7名、実務家教員6名) 兼任教員 1名 兼任教員 26名
授業形態	昼間開講(一部科目を夜間に開講)
修業年限	2年(長期履修学生制度あり)
修了所要単位	48単位
履修制限単位	32単位(1年間)

※ 2024年4月現在

会計心 (Accounting Mind) をもった 超会計人の養成

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。

積上げ式の科目群として、「導入科目群」・「基本科目群」(会計専門職のための基礎的教育)、「発展科目群」(会計専門職としての発展的教育)、「応用・実践科目群」(会計専門職としての実務適応教育)。

横軸に系統として、「財務会計」、「管理会計」、「監査」、「法律・税務」、「経営・経済」。

さらに、先端的・学際的な特徴ある科目として、特殊講義 (Specific Lecture)、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目 (学修・進路指導)、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2024年度入学生適用カリキュラム>

系 統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系	
導入科目群	中級商業簿記	中級工業簿記				
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法		
発展科目群	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記論 英文会計論 IFRS 会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業分析論 コストマネジメント論 企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 内部監査論 国際監査基準論	商取引法 会社法 民法 法人税法 上級税務会計論 上級会社法 租税法理論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 統計学 ミクロ経済学 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論 マクロ経済学	
発展科目群 特殊講義 (Specific Lecture)	公会計論 BATIC 演習 IFRS 演習 連結会計実務 連結会計論 財務会計各論	コンサルティング実務	自治体マネジメントと監査 不正摘発監査論 国際監査事例研究 会計検査制度論	民法(債権)	資本市場論 起業・株式公開事例研究 経営学	
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 会社経理実務 実践会計プログラム演習 IFRS 事例研究 ディスクロージャー実務	管理会計事例研究 国際管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習 (ICAEA JAPAN寄附講座)	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション	
横断科目	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ■発展科目群〈特殊講義 (Specific Lecture)〉 会計専門職業数学 企業マネジメントと会計 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ■応用・実践科目群 アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 論文指導(導入) 論文指導(基礎) 論文指導(実践) </div>			修士論文 監査法人インターンシップ 企業インターンシップ

・修了に必要な単位数

以下の科目を含めて48単位以上を修得しなければなりません。ただし、中級商業簿記および中級工業簿記を修了所要単位に算入することはできません。

- (1) 基本科目群: 16単位
- (2) 発展科目群: 16単位
- (3) 応用・実践科目群: 12単位

・履修制限単位

1年間32単位

(ただし、導入科目群科目および監査法人インターンシップ、企業インターンシップは含めません。)

・単位数

「論文指導(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位



会計専門職大学院の
ホームページで
学年暦や時間割を
ご覧いただけます。



研究科紹介

- 学則
- 学生数
- 学年暦
- 時間割

履修モデル

Course Model

進路やニーズ、個々のレベルに応じた履修が可能

カリキュラム

履修モデル

履修モデル① 【公認会計士】をめざす

[2024年度入学生適用カリキュラム]

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	会計基準論 会計制度論	戦略管理会計論 コストマネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論	監査実施論 監査報告論 不正摘発監査論	会社法 上級会社法 法人税法 上級税務会計論	経営学理論 経営戦略・組織論 ミクロ経済学 マクロ経済学
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 実践会計プログラム演習	管理会計事例研究	監査事例研究 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習 (ICAEA JAPAN寄附講座)	企業法判例演習 税務事例研究	
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 監査法人インターンシップ				

POINT

公認会計士短答式試験に合格できる学力を「基本科目群」の履修により修得し、「発展科目群」から公認会計士試験に対応する科目を能動的に選択することで論文式試験に合格できるレベルに到達できる。さらに監査業界のリーダーとして活躍できる考動力を身につけるために、「応用・実践科目群」と個別演習科目等から深く学ぶ。

履修モデル② 【組織内会計専門職】をめざす

[2024年度入学生適用カリキュラム]

系統	財務会計系	管理会計系	監査系	法律・税務系	経営・経済系
基本科目群	上級簿記論 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論	監査制度論 監査基準論 会計専門職業倫理	企業法	
発展科目群	英文会計論 IFRS会計論 組織再編会計論	戦略管理会計論 企業価値マネジメント論 コンサルティング実務	内部監査論 国際監査基準論 国際監査事例研究	会社法 上級税務会計論 租税法会計論 国際税務論	経営学理論 経営戦略・組織論 コーポレート・ファイナンス論 インベストメント論
応用・実践科目群	基本会計プログラム演習 会計事例研究 IFRS事例研究	国際管理会計事例研究	基本監査プログラム演習	企業法判例演習 税務事例研究	企業実践コミュニケーション
横断・個別演習・ 修士論文・ インターンシップ	アカデミック・ソリューション プロフェッショナル・ソリューション 企業インターンシップ				

POINT

会計専門職として必要となる基礎的な専門知識を「基本科目群」の履修により修得したうえで、「発展科目群」から自らが得意としたい分野について、国際やIT分野、ならびに「法律・税務系」、「経営・経済系」の中から選択できる。さらに企業や自治体等の組織において専門職として活躍するための高度な実践的能力を「応用・実践科目群」と個別演習等を履修することで修得する。

講義紹介

関大ASで公認会計士をめざす

高度な資格に基づく会計専門職業人をめざす学生のために、資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的能力の修得をサポートします。

戦略管理会計論

ピックアップ講義



企業会計は、株主、債権者、投資家などに報告することを課題とする財務会計と、経営管理者などに報告することを課題とする管理会計に区分できません。後者の管理会計では、これまで、意思決定や業績評価に有用な情報を提供するために、さまざまな手法や考え方が提案されてきました。その一方で、近年、企業を取り巻く環境の熾烈化に伴い、戦略の支援が管理会計の重要な役割として意識され、関連する手法や考え方が新たに提案されています。この講義は、企業の戦略を支援する管理会計に焦点を当てています。具体的には、戦略を支援する管理会計として、どのような手法や考え方が提案されているのか、それらはどのような特徴を有しているのかといったことだけでなく、それらはどのような状況で効果を発揮できるのかといったことを講義しています。この講義を通じて、管理会計の知識を基礎に実務での解決策を提案できる能力の養成をめざしています。

教授 坂口 順也 SAKAGUCHI Junya
研究者教員

監査法人インターンシップ体験談



米田 奏美さん
KOMEDA Kanami
2年次生

有限責任あずさ監査法人

【実習期間】2023年2月27日(1日間)

実務でどのような監査手続が行われているのか、現場を理解し、普段の学習ではできない経験をすることを目的として監査法人インターンシップに参加しました。1日という短い期間ではありましたが、職員の方々と積極的にコミュニケーションをとることで、法人の雰囲気や風土を自分自身で感じ取ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

また、実際に監査実務を体験することで、日々の学習に対するモチベーションをあげることができたと感じています。グループワークでは架空の会社を想定し、その業界の特徴や財務諸表の分析を行い、リスクの識別、実施すべき監査手続を考えました。また、グループごとに役割分担を行い、連携して業務を遂行する練習をしました。このインターンシップを通じて、会計だけでなく世の中の事象に関心を持つことがリスク評価に生きることを学んだと共に、実務を意識して学習することができるようになったと強く感じています。

関大ASで企業人や公務員等をめざす

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を修得します。企業の経理担当者や公務員をめざす学生のためにさまざまなサポートを行います。

会社経理実務

ピックアップ講義



実際の会社で行われている経理実務は、規模や業種、管理方針等の違いによりさまざまです。また、簿記の問題のように会計処理に必要な情報が処理前に全て明らかにはなっておらず、会計処理に必要な情報は、経理部が各部署や子会社等から積極的に収集し、集めた情報の内容が会計上どのように影響するのかを評価したうえで処理を実行していかねばなりません。

つまり、会計人としてのスキルは単に簿記の問題が解けるというだけでは不十分であり、情報収集能力および事実認識能力を備えてこそ十分に発揮されます。そこで、本講義は、業種ごとにさまざまな経理実務がある中でも、経理が果たすべき本来の役割を理解していただき、簿記の処理の前提となる必要な情報収集能力および事実認識能力を高めていただけるよう講義を展開していきます。皆でたくさん議論して、会計の能力を一段と高めてまいりましょう。

特別任用教授 池上 ののぶ IKEGAMI Shinobu
実務家教員：公認会計士

企業インターンシップ体験談



北野 正也さん
KITANO Masaya
1年次生

住友精化株式会社

【実習期間】2023年8月25日～8月31日(5日間)

一般企業への就職活動を進めるにあたって、経理業務に特化したインターンシップの内容に魅力を感じ、これまで学んできた簿記が会社の実務ではどのように使われているのかを経験できるとも良い機会だと考え、申し込みました。経理といえばパソコンに向き合っただけで数字を打ち込んでいるイメージでしたが、実際はそのような業務ばかりではなく、他部署の方たちとコミュニケーションを取りながら業務を進めていくことも多いというお話をインターンシップでお聞きし、経理に対するイメージが大きく変わったことが印象的でした。

また、有価証券報告書の作成に関心があり、「事業上のリスクを社員と一緒に考える」という内容の研修がとても印象に残っています。インターンシップを通して、今後の就職活動の方針が固まっただけでなく、残りの大学院生活で自分が学びたい勉強の方向性も決まり、非常に有意義な5日間を過ごすことができました。

※プロフィールの学年は2024年3月時点

サポート体制

入学前

在学中

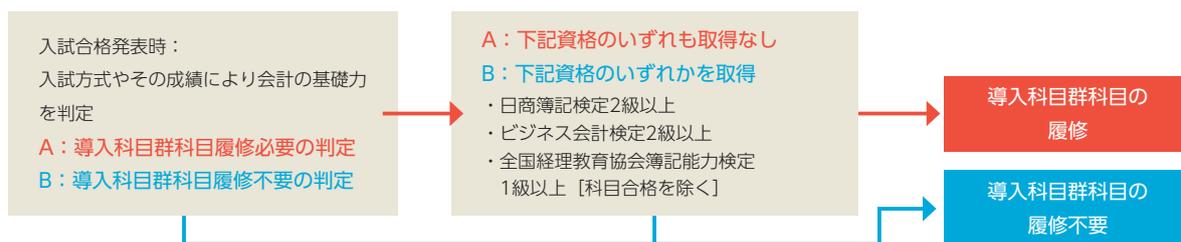
入学前教育プログラム 入学前

新学期からの学修に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学修を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的として、入学前教育プログラムを実施しています。

導入科目群科目 在学中

会計についての基本的な知識をまだ有していない方を対象に、専門的な学修を行う前段階として、導入科目群科目（「中級商業簿記」「中級工業簿記」の2科目）を設置しています。なお、導入科目群科目の履修対象者は、その単位修得まで、基本科目群科目（「企業法」「監査制度論」「監査基準論」を除く）の履修は認められません。

【導入科目群科目 履修決定のフロー】 Aの場合→へ Bの場合→へ

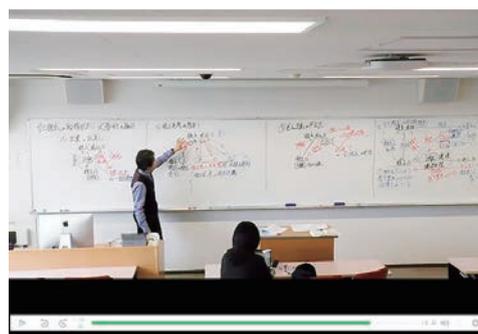


動画配信 在学中

履修している基本科目等の主要科目については、パソコン等のデバイスからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のために大変有益です。無料で、かつ何度でも閲覧することが可能です。

2023年度 配信科目

- 上級簿記論
- 上級管理会計論
- 上級財務会計論
- 監査制度論
- 上級原価計算論
- 企業法 など



ソリューション 在学中

ソリューション科目は個別演習科目であり、その内容は、1年次配当のアカデミック・ソリューションと2年次配当のプロフェッショナル・ソリューションの2つから構成されています。

本科目では、会計専門職業人として身につけるべき会計的センスとスキルの涵養を目的とします。会計専門職業人として期待されるのは、単なる専門知識ではありません。1つの課題に対して、種々の情報を収集し、それらを分析した後、分析結果を報告書として取りまとめ、説得力のある形でプレゼンテーションを行い、さらにディベートもできることは、会計専門職業人のみならず、社会人としても必須のスキルといえるでしょう。

本科目は複数のクラスが開講され、それぞれ異なる専門分野の教員が上記のスキルの養成に向けて指導します。そのため、アカデミック・ソリューションの専門分野と異なる専門分野のプロフェッショナル・ソリューションを受講することもできます。さらに、学生の幅広い個々のニーズに応えるべく、上記の学修指導に加えて進路指導も行います。

修了後

課外講座 在学中 修了後

本会計専門職大学院の在學生と修了生は、時間をかけて予備校に行かずとも、公認会計士試験対策の講座を受講することができます。

また、自習室から近い教室で実施されるため、時間を有効活用しながら、試験対策が可能です。修了生の受講者については、引き続き自習室を利用することもでき、快適な環境で効率的に学修時間を確保することができます。

CPA 資格取得支援プログラム

公認会計士試験(短答式、論文式)に特化した、より実践的なレベルでの本格的な対策を行うことで、CPA試験の合格をめざします。この講座は「資格の学校TAC」と提携し、試験傾向や出題者である試験委員の専門分野などを徹底分析したTACオリジナルテキストや試験問題を使用して運営されます。

受講者のメッセージ



生嶋 起和さん
IKUSHIMA Taketo
1年次生

私が公認会計士を志したのは大学4年生のときで、関西大学会計専門職大学院に入学するまで公認会計士試験の勉強をしたことがありませんでした。大学院入学時にCPA資格取得支援プログラムの存在を知り、受講を決めました。決め手となったのは、価格の安さ、時間の効率性、内容の充実性です。本プログラムはTACの講師、テキストをもって運営されています。しかしその料金はTACに入学するよりもかなり安く設定されています。初学の方にはもちろん、既習生でも復習などに活用いただける価格設定となっています。また、本プログラムは関西大学で開講されるため、専門学校に通学する時間を勉強時間に充てることができます。加えて、本プログラムは6月から3月の長期間にわたり、かなり多くのコマ数で開講されるため、初学の方でも十分に力をつけることができる内容になっています。

本プログラムは大学院の授業がある中、限られたコマ数で開講されるため、復習や授業との両立が少し大変ではありましたが、本プログラムで学んだ内容は公認会計士試験勉強の基礎学力として今まさに力となっています。

受講された皆さん、ともに合格をめざして頑張ってください。

担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

各種試験 修了後

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、U.S.CPA、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



※プロフィールの学年は2024年3月時点

在学生からのメッセージ

The Message from Students

公認会計士試験合格はもちろん

さまざまな目標をもった学生が日々の学修に励んでいます。



劉 泓子さん

LIU Hongzi

1年次生

私はもともと経済学を専攻していましたので、その関連で会計学にも興味を持ちました。はじめは、公認会計士試験対策をしている予備校で学んでいましたが、受験のための勉強ではなく、体系的に学問として会計学を学びたい気持ちが強くなりました。そこで、素晴らしい教員が多く在籍し、関西随一の会計大学院である関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を選びました。

入学後は、研究者や実務家である先生の講義を幅広く受講し、多面的かつ深く学ぶことができています。特に、正課授業の補助講義である基礎講座が、理解を深めるには大変役立ちました。演習問題を通して、応用的思考が鍛えられ、先生方のご指導のおかげで、入学後に公認会計士試験短答式試験に合格することができました。

公認会計士試験合格をめざす人は、孤独な受験生活で勉強が苦痛になる時もあると思います。過去の自分もそうでしたが、今では、本学ASで学問を深く理解しようと努め、その先にある喜びを教員や同級生と分かち合うことができています。いつしか勉強だけでなく人間としても成長できる、実り多き2年間になると信じています。

7:00	10:40	12:10	13:00	14:30	16:10	20:30	1:00	
主な1日のスケジュール	起床・準備・移動	授業	授業の復習・昼休み	授業	授業	自習	自由時間	就寝

※プロフィールの学年は2024年3月時点

修了生からのメッセージ

The Message from Graduates

公認会計士・監査法人以外でも

多様な分野で「超会計人」のOB・OGが活躍しています。



村瀬 智弘さん

MURASE Tomohiro

2012年3月修了

日本公認会計士協会 自主規制本部 勤務

私は、会計監査の専門知識を実務的な視点から学びたいと考え、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。学生生活では、充実した学修環境と共に、分野別に構成されたカリキュラムがあり、理論と実務を体系的に学修することができました。

また、国・地方自治体などの公的分野の会計・監査制度に最も興味を持ちました。具体的には、事例研究の講義を通じて、国の財政活動の基本的な考え方、国民への会計情報の説明責任を履行など、行政活動の多様化により税財源の使途を開示する社会的必要性を学びました。

本学AS修了後、日本公認会計士協会(以下、協会)に就職し、独立行政法人・国立大学法人等の実務指針の改正作業に携わる中で、関係省庁(総務省・財務省等)との折衝等に関する業務を担当しました。

現在は、上場企業の不公正会計等の個別事案に関し、それを監査していた公認会計士の指導・監督に携わる業務を担当しています。また、昨年、公認会計士法改正により上場企業の会計監査に登録制度が法制化されたことを踏まえ、協会の自主規制機能として実施する懲戒処分の情報開示制度の見直しに関する業務を担当しています。

上述の各専門分野の施策を具体化する中で、実務上の課題を踏まえた対応策を検討するなど、本学ASで学んだ知識を活かすことができています。



丸石 彩乃さん

MARUISHI Ayano

2022年3月修了

SUNTORY サントリーホールディングス株式会社 勤務

私は関西大学経済学部在学中に簿記1級を取得し、会計学の学びをもっと深めたいと思ったため、学部3年次生在学中に飛び級制度を利用して関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学しました。

本学ASには会計分野に精通した教授がたくさんいらっしゃるため、自分が勉強したい内容によって、その分野に強い教授のゼミを選択することができます。私は企業経理を志望していたため、ゼミでは志望企業の財務諸表分析やプレゼンテーションなどの演習に取り組みました。そして、先生方から就職活動のアドバイスをいただけたこともあり、第1志望だった企業から内定をいただくことができました。

入社後はいきなり1社の決算を丸々任せてもらえることになりましたが、本学ASで企業会計の取引から決算までの一連の流れを勉強していたので、作業背景から理解することができました。中でも経理実務やプログラミング演習などを学ぶ授業は特に活かすことができたと思っています。

専門分野での就職をめざす人へ

本学OB・OGを含む現役の業界の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを活かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。

一般企業での就職をめざす人へ

本学キャリアセンターとの連携・協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりするなどの支援も実施しています。



2023年度参加の監査法人は、有限責任あずさ監査法人、PwCあらた有限責任監査法人(現PwC Japan有限責任監査法人)、仰星監査法人、EY新日本有限責任監査法人、三優監査法人、有限責任監査法人トーマツ、太陽有限責任監査法人の7社でした。

■ インターンシップ

監査法人インターンシップに加え、本会計専門職大学院独自の企業インターンシップを実施しています。

(過去5年間の実績)

監査法人	企業
有限責任監査法人トーマツ	住友精化株式会社
	株式会社カネカ
有限責任あずさ監査法人	住友理工株式会社
	株式会社オービック
EY新日本有限責任監査法人	あすか税理士法人
PwC Japan有限責任監査法人	日本経営ウィル税理士法人
	税理士法人 和

就職状況

在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院=公認会計士=監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

過去5年間の修了生のおもな就職先

- あすか税理士法人
- 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
- Huawei Technologies Co., Ltd.
- 大阪国税局
- 損害保険ジャパン株式会社
- 三菱マテリアル株式会社
- 亀田製菓株式会社
- 税理士法人 和
- 税理士法人山田&パートナーズ
- 株式会社コナミデジタルエンタテインメント
- 株式会社日本M&Aセンター
- 楽天グループ株式会社
- サントリーホールディングス株式会社
- PwC税理士法人

ほか

キャンパス・施設紹介

千里山キャンパス

緑豊かな千里山キャンパス。関西の中心地、大阪駅(梅田駅)から約20分の好立地で、交通アクセスも抜群です。



梅田キャンパス

グループ学習や自習用のスペースとして利用が可能です。



総合図書館

蔵書数は220万冊以上、座席数は2,000席以上と、大学図書館としては全国トップクラスの設備と規模を誇る施設です。



快適な学修環境(第2学舎2号館)

会計専門職大学院の講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。同じ建物内に自習室や食堂もあり、非常に快適な環境で学修することができます。

図書閲覧室



新聞や会計関係の雑誌を閲覧することができます。

パソコン教室



専用のパソコン教室では「基本会計プログラム演習」等のソフトウェアを使った授業が行われます。

図書資料室



関大AS生専用の会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。

食堂・コンビニ



授業や自習の合間に、館内から外に出ることなくリフレッシュできます。

講義室・演習室

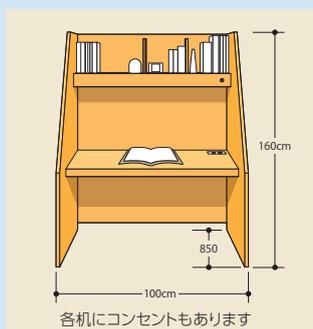


講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。

会計専門職大学院自習室



関大AS生専用の自習室を、第2学舎2号館に設置しています。開放的で利用しやすい自習室を「24時間365日利用可能」です。また、自習室内には個人ロッカーも設置しており、非常に快適な環境で自習することが可能です。



もちろん、館内全域でWi-Fi利用可能です



図書閲覧室等に設置されているコピー機では、年間1500枚まで無料コピーが可能です



自習室内には、個人ロッカー(1人2つ)が設置されています

VOICE



自習室はICカードで解錠する必要があるのですが、部外者の立ち入りもなく、夜間も安心して勉強することができます。



自習室のほかにも、総合図書館やパソコン教室などを自由に使えるため、場所を変えながら、集中力を切らさず勉強に励むことができました。



竹島 尚吾さん
TAKESHIMA Shogo

関西大学会計専門職大学院の魅力

有限責任あずさ監査法人 勤務

私が関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しようと思ったきっかけは、大学4年生の時に公認会計士をめざしたいと考えたからです。活躍できる会計のプロフェッショナルとなるために、深く会計を学びたいと考え、本学ASへの入学を決意しました。

実際に私が本学ASに入学して感じた最大の魅力は、先生方に質問・相談しやすい環境が整っていることです。本学ASは先生方に授業時間以外で質問できる時間(オフィスアワー)が設けられており、自由に質問・相談をすることができます。私はこの時間を利用し、授業や公認会計士試験の勉強で生じた疑問点を解消するだけでなく、公認会計士試験受験にあたっての悩み事を相談していました。これによってより深く会計を理解でき、また安心して試験勉強に励むことができました。

現在、日々の実務において本学ASにて学んだことはとても役に立っており、改めて本学ASで学んでよかったと感じています。公認会計士のみならず、会計職をめざす方はぜひ本学ASで学んでいただけたらと思います。

2020年4月 関大AS 入学 / 2022年3月 関大AS 修了
2021年5月 公認会計士試験 短答式試験合格 / 2022年11月 公認会計士試験 論文式試験合格



藤岡 巧さん
FUJIOKA Takumi

関西大学会計専門職大学院での出会い

EY新日本有限責任監査法人 勤務

私は大学卒業後、税理士法人に勤務しながら税理士試験の勉強を行っていましたが、より高度な専門知識を身につけたい、税務だけでなく会計や経営についてのスペシャリストになりたいという思いが強くなり、公認会計士試験の勉強に切り替えることを決断しました。そこで当時勤務していた税理士法人を退職し、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に進学しました。

本学ASに進学した当初は、特に公認会計士試験の科目である監査論についての知識が乏しく、講義についていくことで精一杯でした。しかし、監査論の松本祥尚先生のゼミに所属し、同じ公認会計士試験合格をめざす仲間と出会い、互いに切磋琢磨しながら勉強に励む日々を過ごしたことにより、成績を伸ばすことができ、公認会計士試験では監査論を自分自身の強みとして合格することができました。

本学ASでは、公認会計士試験合格のための知識だけでなく、実務で必要となる考え方を修得する機会が豊富にあります。また、同じ目標を志す仲間との出会いは受験生活での心理的支えとなり、一生の宝物になります。ぜひ本学ASに進学し、素晴らしい環境、仲間とともに公認会計士をめざしてみてください。

2021年4月 関大AS 入学 / 2023年3月 関大AS 修了
2022年1月 公認会計士試験 短答式試験合格 / 2023年11月 公認会計士試験 論文式試験合格



野村 菜帆さん
NOMURA Naho

熱心なご指導と充実した環境で過ごした2年間

有限責任あずさ監査法人 勤務

私は大学在学中から公認会計士試験合格に向けて専門学校で勉強していましたが、なかなか合格に届きませんでした。自分に何が足りないのか、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)の進学説明会で相談したことを昨日のこのように覚えています。入学してから、本学ASの講義では試験に出る内容だけでなく、監査基準や会社法の趣旨を丁寧に教えていただき、実務での考え方や背景についても学ぶことが多く、理解を重視した講義が合格に結びついたと思います。

本学ASでは少人数で講義を受けるため、課題やレポートの添削などを先生が一人ひとりに対して真摯に向き合ってください、とても有難かったです。そして、本学ASでは自習室など充実した環境が整っているだけでなく、公認会計士試験合格をめざす方が多く在籍しているため、一緒に勉強や質問をしあうことで試験前の不安や焦りを乗り越えられました。貴重な環境で学修できたことを感謝しています。勉強は決して楽なものではありませんが、深く学び、楽しく勉強が続けられる本学ASは、最高の大学院だと思っています！

2019年4月 関大AS 入学 / 2021年3月 関大AS 修了
2021年5月 公認会計士試験 短答式試験合格 / 2022年11月 公認会計士試験 論文式試験合格

PwC Japan有限責任監査法人 Chicago事務所 勤務
PricewaterhouseCoopers LLP

国際的に活躍できる公認会計士になることをめざして

末吉 加奈さん SUEYOSHI Kana 2018年3月修了

私は国際的に活躍できる公認会計士になることをめざし、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)に入学しました。本学AS修了後は、PwCあらた有限責任監査法人(現PwC Japan有限責任監査法人)に就職し、東京事務所にてグローバル企業の監査を担当しました。本学AS在学中に学んだ会計や監査の知識が実務に直結することも多く、監査チームやクライアントと議論する際の基礎となりました。

入社3年目からは海外赴任候補者としてコミュニケーション研修に参加し、海外赴任に向けた準備を始めました。そして、2023年9月から2年間、アメリカのシカゴ事務所に駐在し、アメリカ中西部に所在する日本企業の子会社の財務諸表監査を担当しています。具体的には、親会社の監査チームからインストラクションを受けて行うグループ監査と銀行への提出等を目的として作成する財務諸表の監査の2種類の監査を行っています。このように働く環境や一緒に働くメンバーが変わっても、監査基準や会計基準が世界共通言語としてあり、日本で学んだ知識や経験を生かすことができるため、赴任後すぐに現地の仕事に馴染むことができましたし、それがアメリカという異国の地でも自身の強みになっていると感じます。

グローバル企業が増えるに伴って、国際的に活躍できる公認会計士の需要も高まっています。今後さらに、本学AS進学や海外赴任をめざす方が増えることを祈っています！



関西大学大学院 商学研究科 博士課程後期課程 在学中

未知なる会計の世界へようこそ!

長岡 亮子さん NAGAOKA Ryoko 2021年3月修了

私は法学部4年生の時に大学院進学を決めました。数多ある進学先の中から関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を選んだ理由は、入学試験の種類と日程が多く、会計の勉強をしてきた人はもちろん、これまで違う分野の勉強をしてきた人でも自分に合った種類の入学試験を受けることができるからです。私自身、会計とはなんぞや、という状態で入学したため、初めの数ヶ月は講義についていくことができず、心が折れそうになりました。しかし、本学ASの先生方はとても面倒見がよく、私が理解するまで根気よく質問に対応してくれました。また、履修や就活・進学の相談にも乗ってくれるので、初学者の人にとっても過ごしやすい環境だと思います。

本学ASでいろいろな講義を受ける中で、生涯をかけて学びたいと思うものに出会い、博士課程後期課程へ進学しました。監査論の研究には、経済学や法学等の学際的な知識が求められます。これら多様な知識を身につけられるという点も本学ASのメリットの一つです。

修了後、就職するにしろ進学するにしろ、専門的な知識を有していることは皆さんの力になるはずです。是非、本学ASへ進学し、立派な会計専門職をめざしてください！



公認会計士試験合格者状況

過去3年間実績

※()内は内数で、在学生合格者数を示す。

合格年度	合格者数	主な就職先
2021年度	6名(2名)	EY新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、PwCあらた有限責任監査法人(現PwC Japan有限責任監査法人)、太陽有限責任監査法人 ほか
2022年度	10名(4名)	
2023年度	7名(5名)	

教員スタッフ



大西 靖 教授

ONISHI Yasushi

■ 担当科目
中級工業簿記、上級管理会計論、
ソリューション各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- 「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- 著書は『環境経営イノベーションの理論と実践』(中央経済社) (共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント:アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数



富田 知嗣 教授

TOMITA Satoshi

■ 担当科目
上級財務会計論、会計基準論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- 「利益平準化のメカニズム」により博士(商学)関西大学の学位取得
- 公認会計士
- 主な著書として、『利益平準化のメカニズム』(中央経済社)、『倒産指数』(日本経済新聞社)、発表論文として、「新会計基準による連結予測利益の精度への影響」、「ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—」ほか多数



加藤 久明 教授

KATO Hisaaki

■ 担当科目
中級商業簿記、上級簿記論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- 「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士(経営学)立命館大学の学位取得
- 主な著書として、『現代リース会計論』(中央経済社)、『リース会計基準の論理』(税務経理協会) (共著)、発表論文として、「リース会計基準の改定動向に関する分析と検討」、「IASBとFASBの新しいリース会計基準に関する比較考察」ほか多数



中村 繁隆 教授

NAKAMURA Shigetaka

■ 担当科目
法人税法、租税法理論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 関西大学大学院法学研究科法学・政治学専攻博士課程後期課程修了
- 「クロス・ボーダー組織再編成と課税」により、博士(法学)関西大学の学位取得
- 「課税繰延べ防止策の研究—FIF (Foreign Investment Fund) ルールを主題として—」により、第28回日税研究賞(研究者の部)を受賞
- 著書として、『教材国際租税法 新版』(慈学社出版) (分担執筆)、発表論文として、「包括的組織再編成条項の理論的側面—米加租税条約13条8項を題材に—」、「Cross-border Corporate Reorganizations and Non-discrimination Clauses—Focusing on Two Protocols in Japanese Tax Treaties—」ほか多数



坂口 順也 教授

SAKAGUCHI Junya

■ 担当科目
上級原価計算論、戦略管理会計論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- 「サプライチェーン・マネジメントが組織間管理会計に与える影響に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- 元公認会計士試験委員
- 著書は『組織間マネジメント・コントロール論—取引関係の構築・維持と管理会計—』(中央経済社、日本管理会計学会文献賞・日本原価計算研究学会著作賞受賞)、論文は「The interfirm contracting value of management accounting information」(共著)、「組織間における契約の諸側面とその関連性—組織間マネジメント・コントロールの設計—」(日本原価計算研究学会論文賞受賞)ほか多数



松本 祥尚 教授

MATSUMOTO Yoshinao

■ 担当科目
監査制度論、監査報告論、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- 日本監査研究学会会長、日本ガバナンス研究学会理事、Academy of Accounting Historians Trustee、会計大学院協会副理事長、会計大学院評価機構評価部会委員、金融庁企業会計審議会臨時委員、日本IFARネットワーク企画委員会委員、元公認会計士試験委員(監査論)
- 主な著書として、『ベーシック監査論』(同文館出版) (共著)、『監査報告書論』(中央経済社) (共著)、『監査・証明業務の多様性に関する研究』(日本公認会計士協会出版局) (編著)、『公認会計士の将来像』(同文館出版) (共著)、『わが国監査報酬の実態と課題』(日本公認会計士協会出版局) (共著)、『会計士監査制度の再構築』(中央経済社) (共著)、『実証的監査理論の構築』(同文館) (共著)ほか多数

● 担当科目は、2024年度開講の各教員の担当科目を示す。 ● 現職は2024年4月現在 ※は特殊講義として開講



三島 徹也 教授

MISHIMA Tetsuya

■ 担当科目
企業法、会社法、
ソリューション各科目、修士論文各科目

■ プロフィール

- 関西大学大学院法学研究科私法学専攻博士課程後期課程単位修得後退学
- 主な著書として、『プライマリー会社法(募集株式の発行等、新株予約権、社債)』(法律文化社)、『プライマリー商法総則・商行為法(商業帳簿)』(法律文化社)(いずれも共著)、発表論文として、『フランチャイザーの第三者に対する責任(一)(二完)』、『資本制度および剰余金の配当規制に関する一考察-ドイツ法における最低資本金および出資の払戻し規制を参考として』ほか多数



宗岡 徹 教授

MUNEOKA Toru

■ 担当科目
インバーストメント論、企業分析論、
ソリューション各科目

■ プロフィール

- 東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
- 日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授(現)。(独)医薬品医療機器総合機構監事、東京電機大学客員教授(現)、上場企業の外部取締役(現)、外部監査役(現)等
- 財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け人。日本証券アナリスト協会試験委員会委員(現)、日本公認会計士協会委員会委員等
- 公認会計士、日本証券アナリスト協会検定会員、システム監査技術者等

オフィスパワー



会計専門職大学院では、「オフィスパワー制度」を設けています。すべての教員が週に一度(90分間)のオフィスパワー時間を設定しており、講義での疑問点や学習方法、進路等について、教員に直接相談することができます。

特別任用教員

池上 しのぶ 教授

IKEGAMI Shinobu

■ 担当科目
会社経理実務、不正摘発監査論*、
連結会計実務

■ プロフィール

- 神戸商科大学商経学部経営学科卒業
- 公認会計士、税理士
- 監査法人にて金融商品取引法監査、会社法監査、労働組合監査、社会福祉法人監査、医療法人監査業務に従事するとともに、池上公認会計士事務所にて、税務業務、内部統制構築支援業務、会計コンサルティング業務(連結会計支援等)等を行う。



小林 依子 教授

KOBAYASHI Yoriko

■ 担当科目
ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習、
資本市場論*

■ プロフィール

- 関西大学経済学部卒業
- 公認会計士、税理士
- 大学卒業後、大阪国税局に入局、管内税務署の法人課税部門にて法人税等調査等に従事
- その後十数年にわたり、有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法、会社法等の法定監査業務のほか、上場支援業務、財務調査、アドバイザー等の業務に従事
- 2013年より3年間、任期付国税審判官として大阪国税不服審判所に入所、国税に関する審査請求事件の審査に従事
- 公認会計士・税理士事務所を開設、監査業務のほか、税務業務、組織再編等支援、価値評価業務等を行う。



廣田 壽俊 教授

HIROTA Hisatoshi

■ 担当科目
会計専門職業倫理、会計事例研究

■ プロフィール

- 神戸大学経営学部卒業
- 公認会計士
- EY新日本有限責任監査法人にて業務執行社員として様々な業種の会社法監査や金融商品取引法監査、学校法人監査に関与。監査以外に企業向け各種セミナーを掌管、日本公認会計士協会常務理事として監査・規律審査会副審査会長を務め、会員の監査業務や倫理規定等への準拠等を検証・検討、日本公認会計士協会近畿会副会長として監査会計委員会や組織内会計士委員会など近畿会各部・委員会の活動・研究等を指揮、その後、公認会計士廣田壽俊事務所を開設し、監査役・監事に就任



福島 康生 教授

FUKUSHIMA Yasuo

■ 担当科目
監査基準論、監査事例研究

■ プロフィール

- 大阪大学経済学部卒業
- 公認会計士
- 有限責任あずさ監査法人にて、主に金商法監査業務、上場準備企業への準金商法監査・財務調査・上場支援業務、会社法監査業務に従事
- 主な監査経験業種は、精密機械メーカー、アパレル卸、医療器材・医薬卸、創業系ベンチャー、産業素材メーカー、電気通信業、テーマパーク、請負工業等
- 監査法人では事業部品質管理(主にIPO準備企業)・不正調査対応担当並びに大阪事務所非監査業務品質管理担当



乾 将太 准教授

INUI Shota

■ 担当科目
会計制度論、連結会計論*、財務会計各論*

■ プロフィール

- 関西学院大学商学部卒業
- 公認会計士、税理士
- EY新日本有限責任監査法人において金商法や会社法等の法定監査のほか、上場支援業務、アドバイザー業務、地方自治体向けの財務コンサルティング業務に従事のほか、各種セミナー講師等を担当。
- 乾公認会計士事務所を開設し、税務業務、内部統制構築支援業務、内部監査支援業務、地方公営企業の経営戦略支援業務、会計支援業務等を行う。



教員スタッフ

The Faculty Staff

客員教授



岩城 利明 氏
IWAKI Toshiaki
会計検査院
事務総長官房総括審議官



小林 礼治 氏
KOBAYASHI Reiji
有限責任あずさ監査法人
専務理事(関西地区統轄、大阪事務所長)
公認会計士



藤沼 亜起 氏
FUJINUMA Tsuguoki
元国際会計士連盟会長
元日本公認会計士協会会長(現相談役)
元中央大学大学院ビジネススクール
特任教授(現CBSフェロー)など

兼任教員・兼任教員

浅野 信博 ASANO Nobuhiro
●現職 大阪公立大学大学院経営学研究科 教授
●担当科目 英文会計論

吉良 勝明 KIRA Katsuaki
●現職 公認会計士/税理士/社会保険労務士
●担当科目 内部監査論、特殊講義(コンサルティング実務)

広瀬 憲三 HIROSE Kenzo
●現職 関西学院大学商学部 教授
●担当科目 ミクロ経済学、マクロ経済学

荒井 巖 ARAI Iwao
●現職 太陽有限責任監査法人/公認会計士/
不動産鑑定士
●担当科目 特殊講義(起業・株式公開事例研究)

金 志煥 KIN Shikan
●現職 金公認会計士事務所/公認会計士/税理士
●担当科目 特殊講義(自治体マネジメントと監査)

古橋 孝志 FURUHASHI Takashi
●現職 株式会社ジョブマテリアルズ 代表取締役
●担当科目 企業実践コミュニケーション

新井 康平 ARAI Kohei
●現職 大阪公立大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 マネジメント・コントロール・システム論

久保田 浩文 KUBOTA Hirofumi
●現職 大手前大学経営学部 教授/公認会計士
●担当科目 組織再編会計論

堀竹 学 HORITAKE Manabu
●現職 追手門学院大学法学部 教授
●担当科目 民法、特殊講義(民法【債権】)

飯田 俊治 IIDA Toshiharu
●現職 EY新日本有限責任監査法人/公認会計士
●担当科目 特殊講義(国際監査事例研究)

佐久間 智広 SAKUMA Tomohiro
●現職 神戸大学大学院経営学研究科 准教授
●担当科目 国際管理会計事例研究

松井 隆雄 MATSUI Takao
●現職 公認会計士
●担当科目 特殊講義(BATIC演習)

榎本 成一 ENOMOTO Seiichi
●現職 株式会社Bridge Japan 代表取締役/公認会計士
●担当科目 コストマネジメント論

高階 利徳 TAKASHINA Toshinari
●現職 兵庫県立大学国際商経学部 教授
●担当科目 経営学理論

松浦 総一 MATSUURA Soichi
●現職 立命館大学経営学部 准教授
●担当科目 税務事例研究

大川 裕介 OKAWA Yusuke
●現職 大阪経済大学経営学部 専任講師
●担当科目 特殊講義(公会計論)

筒井 万理子 TSUTSUI Mariko
●現職 近畿大学経営学部 教授
●担当科目 経営戦略・組織論

弓場 啓司 YUMIBA Keiji
●現職 公認会計士/一般社団法人国際コンピュータ
利用監査教育協会代表理事
●担当科目 実践監査プログラム演習(IACEA JAPAN寄附講座)

郭 雪如 KAKU Yukiko
●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士
●担当科目 IFRS事例研究

濱村 純平 HAMAMURA Jumpei
●現職 関西学院大学商学部 准教授
●担当科目 企業価値マネジメント論

安福 健也 YASUFUKU Kenya
●現職 EY新日本有限責任監査法人/
公認会計士・公認不正検査士
●担当科目 特殊講義(IFRS演習)

笠井 直樹 KASAI Naoki
●現職 滋賀大学経済学部 准教授
●担当科目 国際監査基準論

早川 翔 HAYAKAWA Sho
●現職 流通科学大学商学部 准教授
●担当科目 管理会計事例研究

山田 善隆 YAMADA Yoshitaka
●現職 公認会計士(日本・米国)
●担当科目 監査実施論

岸本 達司 KISHIMOTO Tatsuji
●現職 新世総合法律事務所/弁護士
●担当科目 企業法判例演習

韓 池 HAN Chi
●現職 大阪公立大学経済学研究科 教授
●担当科目 特殊講義(会計専門職業数学)

良永 康平 YOSHINAGA Kohei
●現職 関西大学経済学部 教授
●担当科目 統計学

●現職は2024年4月現在

●担当科目は、2024年度開講の各教員の担当科目を示す。

学費・諸費/奨学制度

Tuition/Scholarship

教員スタッフ

学費・諸費/奨学制度

学費・諸費(2年コース)

2025年度入学者の学費・諸費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項をご確認ください。

種別	区分	2025年度		2026年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入学金	260,000円		
	授業料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸費	校友会基本会費	10,000円		20,000円
合計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科学則第26条第11号に規定する者(飛び入学する者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生在が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」)の方は、関西大学国際部へお問い合わせください。

① 関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院) 給付奨学金(2025年度予定)

学部卒業見込者(飛び級を含む)、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者対象

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者		
ア 公認会計士試験(論文式) 1科目以上合格者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 2年間 ^{※1}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 1年間 ^{※2 ※3}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
ウ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間 66万円 (授業料の半額相当額) 1年間 ^{※2 ※3}	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
	または	
入試成績優秀者	年間 132万円 (授業料の全額相当額) 1年間 ^{※3}	▶▶ 27万円 (入学金26万円+校友会基本会費1万円)
	または	
	年間 66万円 (授業料の半額相当額) 1年間 ^{※3}	▶▶ 93万円 (入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学生(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

② 日本学生支援機構奨学金(2024年度現行)

第一種奨学金(無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」等の制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

入試概要

5/21(火) 6/15(土) 9/28(土) 12/11(水)

進学説明会 開催予定!

対 面

オンライン



詳細はWebサイトへ

2025年度 入学試験日程

日 程	7月募集	10月募集 ^{*2}	1月募集 ^{*2}	3月募集 ^{*2}
入試種別 ^{*1} (方式)	一般[学力・素養] 学内進学 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人	一般[学力・素養] 学内進学 早期卒業者 公募制推薦 資格取得者・社会人	一般[学力] 学内進学 早期卒業者 資格取得者・社会人
試験地	大 阪			
Webエントリー期間	2024年 6月17日(月)	2024年 9月30日(月)	2024年12月17日(火)	2025年 2月10日(月)
入学検定料納入期間	2024年 6月24日(月)	2024年10月 7日(月)	2025年 1月 7日(火)	2025年 2月17日(月)
出願書類提出期間	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効
試験日	2024年 7月 7日(日)	2024年10月20日(日)	2025年 1月19日(日)	2025年 3月 1日(土)
合格者発表日	2024年 7月12日(金)	2024年10月25日(金)	2025年 1月24日(金)	2025年 3月 7日(金)

※1 募集人員の内訳は、一般25名、学内進学10名、その他若干名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。

※2 10月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。

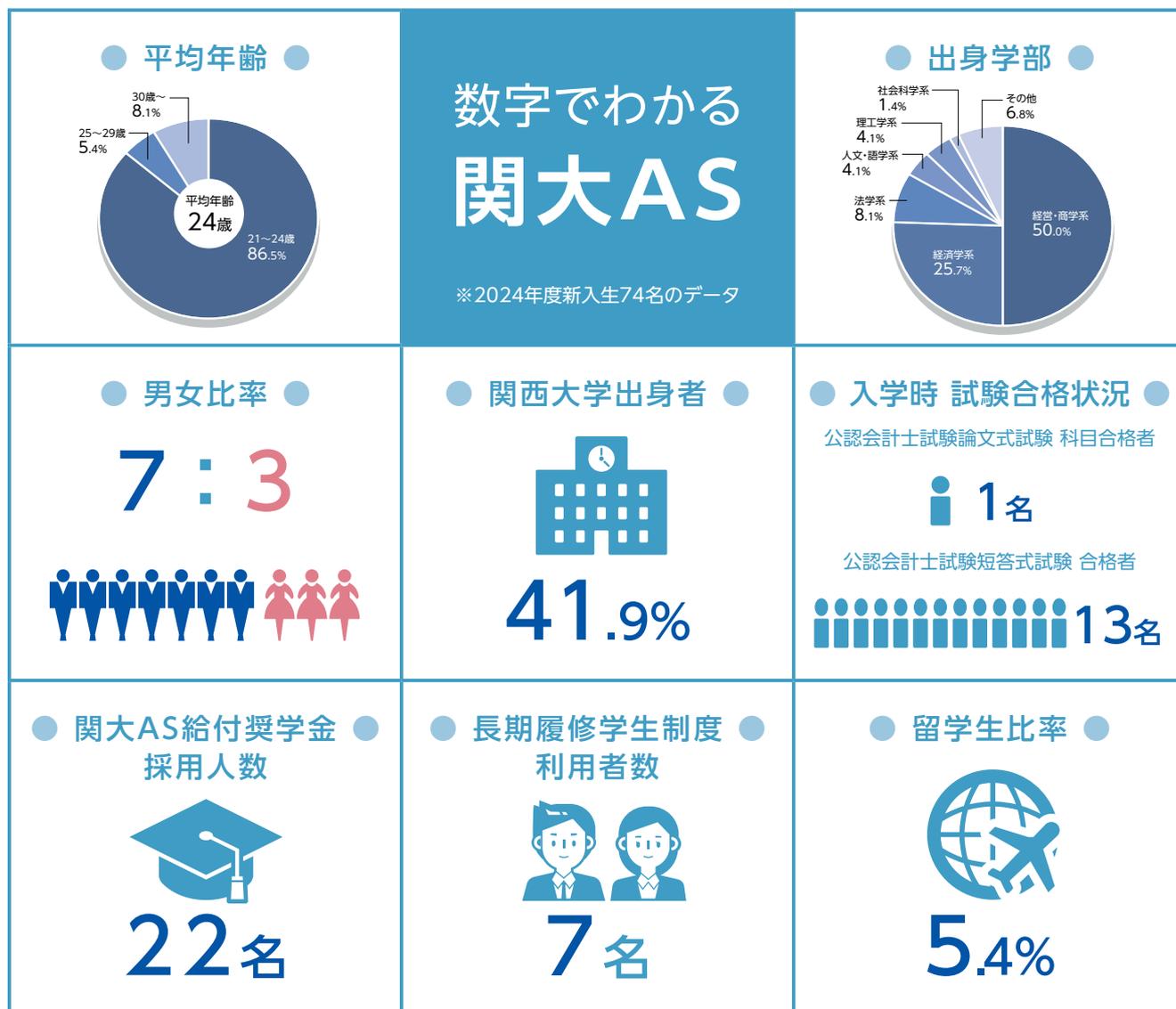
※3 その他入試として、指定校推薦入試、留学生別科特別入試を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

2025年度 入学試験科目

区 分	方 式	試 験 科 目
一 般 入 学 試 験	学力重視方式	筆記試験(簿記および原価計算)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学 内 進 学 試 験		書類選考および面接
早 期 卒 業 者 特 別 入 学 試 験		書類選考および面接
公 募 制 推 薦 入 学 試 験		書類選考および面接
資 格 取 得 者 ・ 社 会 人 入 学 試 験		書類選考および面接

入学試験結果

	2022年度			2023年度			2024年度		
	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学	志 願	合 格	入 学
一般入試	95	41	31	136	38	25	155	45	27
学内進学試験	14	14	12	19	19	15	30	29	22
早期卒業者特別入試	0	0	0	1	1	1	4	4	2
公募制推薦入試	2	2	1	6	6	3	10	9	8
指定校推薦入試	5	5	4	2	2	1	4	4	4
留学生別科特別入試	0	0	0	2	2	2	2	1	1
資格取得者・社会人入試	11	8	6	4	2	0	18	15	10
合 計	127	70	54	170	70	47	223	107	74



長期履修学生制度

入学者の多様な学修ニーズに対応するため、長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しています。

この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間となります。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年 コース	履修制限単位	22単位	22単位	20単位	
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	
4年 コース	履修制限単位	16単位	16単位	16単位	16単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目		2年コースの2年次配当科目	

Access Map



関西大学 会計専門職大学院

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 入試センター 大学院入試グループ
TEL:06-6368-1121(大代表)
E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/as/>

